

2007年4月
黒崎播磨株式会社 生活空間セラミックス事業部
担当:大和 四穂
TEL 093-622-7265

小倉城の屋根瓦が景観レンガに生まれ変わりました ～北九州資源循環ネットワーク～

現在改装工事中の小倉城、40数年間の役目を終えて排出された廃瓦が、景観レンガとしてリサイクルされます。市内で各種セラミックス製品を製造販売している黒崎播磨(株)が、同社の独自技術である粉碎及び製造技術を基に、原料の一部に廃瓦を使用した景観レンガ【写真参照】を製造しました。この景観レンガは、現在工事中の大門木町線における勝山公園沿線ゾーン(ツリーサークル)に使用される予定です。

これは、産業間でのエネルギー・副産物(廃棄物)の相互利用を目指して、北九州市、九州経済産業局、市内企業17社が中心となり推進してきたエコ・コンビナート構想に基づく取り組みのひとつです。

本市のシンボリック的存在である小倉城の瓦を、従来の埋立て処分ではなく、市内企業が製造する製品の原料の一部として有効利用するという、まさに環境首都としての本市の施策に沿ったものといえます。

エコ・コンビナート構想実現の手段として、平成17年度に設置した「北九州資源循環ネットワーク」では、コーディネータ等の目利き人材を介した、廃棄物のリユース・リサイクル・減量化の相談窓口を開設しています。今回、本ネットワークを活用した案件の1つとして、小倉城屋根瓦のリサイクルが実現しました。

■小倉城の屋根瓦を22%含有した景観レンガ【写真】

